

「第9回 日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集要項

1. 趣 旨 テーマは「出発・再出発」。ジェンダー平等社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや学び、実践の過程などをまとめたレポートを募集し、優秀作を表彰する。
※レポートの内容は、家庭、仕事、学校生活、地域活動、女性運動、NPO および NGO 活動、社会教育・生涯学習活動、震災経験や復興に向けた営みなど、幅広い領域を対象とする。
2. 賞 大賞 1 篇 奨励金 10 万円
※該当がない場合もある。
3. 応募資格 趣旨に関心をもつ個人及びグループ（性別・国籍を問わず）
4. 選考基準 (1)ジェンダー視点/ジェンダーの構造的な課題認識、あるいはジェンダー平等社会の実現に向けての問題意識があること
(2)多様性社会の実現/多様な人が生きやすい社会の実現に向けての実践をまとめたものであること
(3)独自性/キャリア形成において独自性があり、後進のロールモデルとなること
(4)社会性/歴史の中での位置づけ、あるいは国際的な課題認識があり、現代社会の課題について考察されていること
(5)将来性/未来への広がりがあること
5. 応募規定 (1)未発表のものであること
(2)使用言語は日本語であること
(3)レポート字数 5,000～10,000 字（見出し、小見出しを含める。）
パソコン（Word または PDF 形式）… A4 判用紙・横書 1 ページ 40 字×30 行
手書き…400 字詰原稿用紙に黒インクまたは黒ボールペンをうい楷書で書くこと
(4)要旨をつけること（400 字以内）
(5)本文と別に目次をつけること。
(6)他の著書・論文・HP 等引用した場合は出典、参考文献がある場合は書名・著者名・出版社名・刊行年・参考ページを明記すること。
(7)所定の応募用紙に必要事項を記入し、同封すること。
※応募用紙は財団に請求、財団HPからのダウンロードも可。

○応募レポートは返却いたしません。（必要があれば各自コピーをおとりください。）
○受賞レポートの著作権は本財団に帰属します。
○受賞レポートは公開（誌面、Web 等）するため、個人情報には配慮してください。
○受賞者の氏名・所属・住所の一部（都道府県まで）・顔写真は公表します。
○特定の政党・政治信条に加担する内容、特定の宗教への勧誘等に関する内容、営利活動に該当する内容のレポートは選考対象外とします。
○選考に関するお問合せには応じられませんので、ご了承ください。
6. 締 切 2025 年 8 月 31 日（日）（当日消印有効）
7. 提出方法 および提出先 E メール添付ファイル または 郵送（簡易書留）
公益財団法人日本女性学習財団 第9回未来大賞係
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館
E-mail jawe@nifty.com

8. 選考委員 安齋 徹 (清泉女子大学教授)
犬塚 協太 (静岡県立大学教授、当財団理事)
中村 香 (玉川大学教授、当財団評議員)
野村 浩子 (当財団理事長、ジャーナリスト、東京家政学院大学特別招聘教授) ※委員長
9. 選考方法 選考基準に基づき、選考委員会において選考する。
10. 選考結果通知 2025年12月下旬までに、郵送にて応募者全員に通知。
なお、受賞者については本人に通知後、財団HPにて発表。
また、受賞レポートは月刊「We learn」2026年3月号に全文掲載する。
11. 贈呈式 日時 2026年1~3月実施
※受賞者は出席すること。
※開催方法は、ハイブリッド(会場・オンライン両方)かオンラインの予定。
12. その他 受賞者は翌年度の財団主催事業で、レポートに関する内容を報告すること。
※詳細は別途、財団より連絡する。